

まち  
ニライの都市をめざす



# 議会だより

No.  
**71**  
2013年3月定例会  
発行  
2013年5月



# おはようございます!!

北谷小学校  
朝のあいさつ活動

平成25年度 一般会計予算 ..... P2~4

平成25年度 事業箇所 ..... P6・7

陳情・抗議決議・意見書 ..... P9

一般質問 **11人が登壇** .... P12~22



どうつくるわが町!?

平成25年度 一般会計予算



# 130億1,950万円のまちづくり

## 予算編成

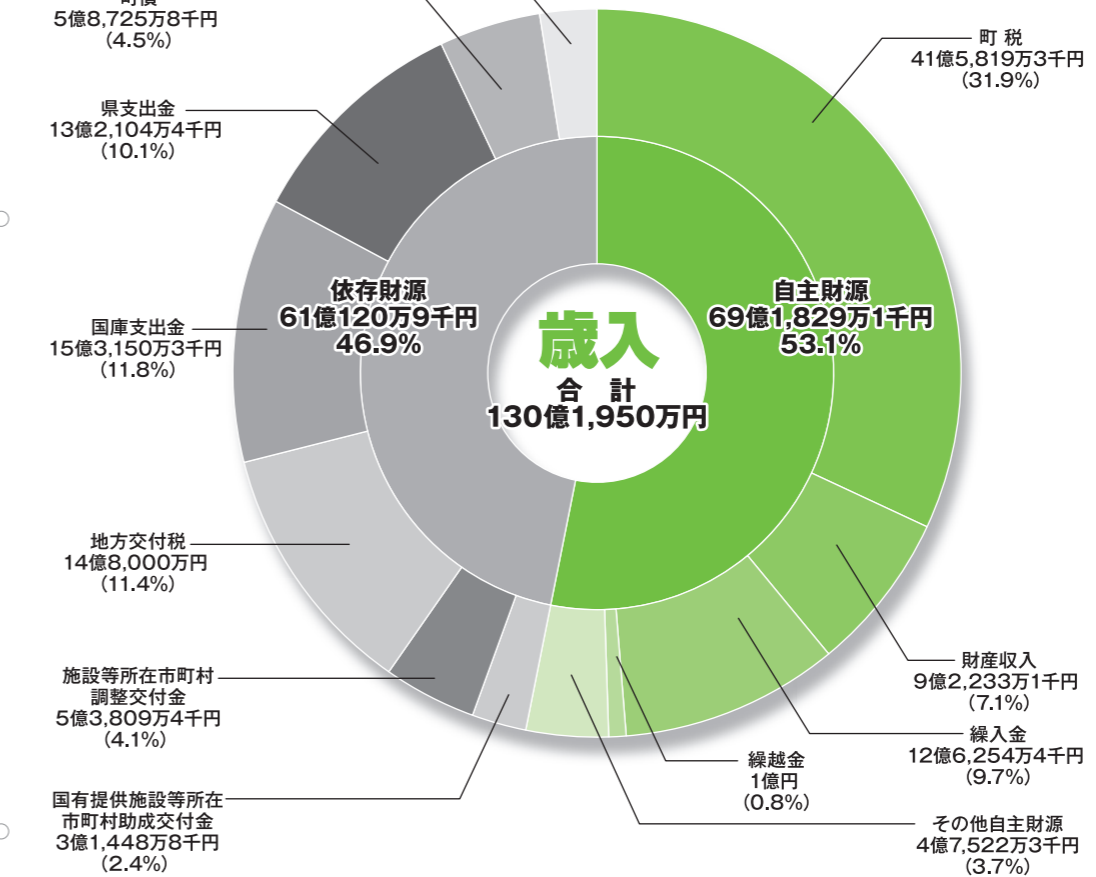
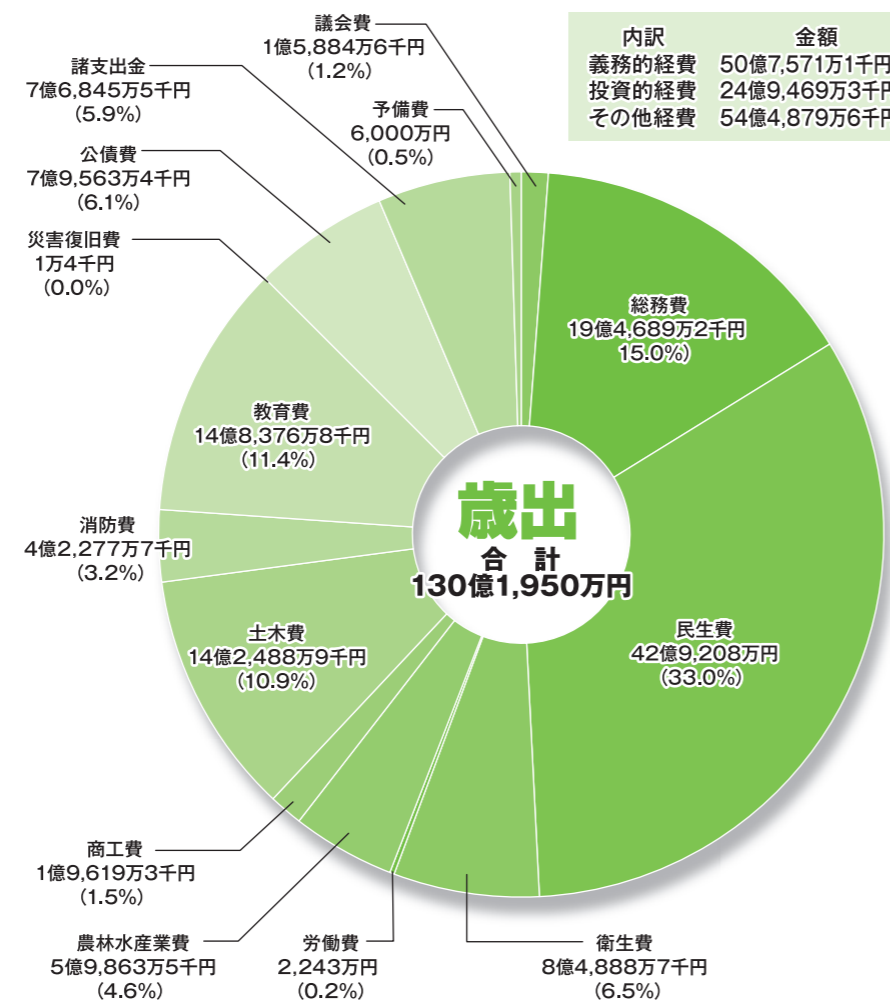
平成25年3月定例議会、昨年に引き続き町民福祉の向上、地域経済の活性化、教育環境の整備促進に重点を置いた25年度一般会計予算が原案可決された。  
予算総額は、沖繩振興費（一括交付金）を含む130億1,950万円で、前年度に比べ、6億4,950万円の増となっている。

### 一括交付金含む(対前年度比 6億4,950万円)

| 内訳    | 金額           | 構成比   |
|-------|--------------|-------|
| 義務的経費 | 50億7,571万1千円 | 39.0% |
| 投資的経費 | 24億9,469万3千円 | 19.2% |
| その他経費 | 54億4,879万6千円 | 41.9% |

| 内訳                | 金額                   | 構成比 |
|-------------------|----------------------|-----|
| その他交付金等           | 3億2,882万2千円 (2.5%)   |     |
| 町債                | 5億8,725万8千円 (4.5%)   |     |
| 県支出金              | 13億2,104万4千円 (10.1%) |     |
| 国庫支出金             | 15億3,150万3千円 (11.8%) |     |
| 地方交付税             | 14億8,000万円 (11.4%)   |     |
| 施設等所在市町村調整交付金     | 5億3,809万4千円 (4.1%)   |     |
| 国有提供施設等所在市町村助成交付金 | 3億1,448万8千円 (2.4%)   |     |

| 内訳   | 金額           | 構成比   |
|------|--------------|-------|
| 自主財源 | 69億1,829万1千円 | 53.1% |
| 依存財源 | 61億1,209万9千円 | 46.9% |



### 用語解説

- ◆自主財源**  
町が自主的に収納することができる財源で財産収入・町税など。
- ◆依存財源**  
国や県から割りあてられる補助金や交付金。
- ◆町税**  
町民税や固定資産税、軽自動車税、入湯税、たばこ税など。
- ◆地方交付税**  
一定水準の行政を維持するために必要な額を補償する財源で、国が交付する。
- ◆国庫、県支出金**  
事業などの特定目的の財源として国、県から交付される。
- ◆国有提供施設等所在市町村助成交付金**  
国有資産・施設等が所在する市町村に固定資産税の代替え財源として交付されるもので、一般に「基地交付金」と言われている。
- ◆施設等所在市町村調整交付金**  
米軍資産、施設が所属する市町村の財政補給的な性格の交付金。
- ◆公債費**  
借入金の返済をするお金。

## 歳入予算増減のポイント

### 増加(対前年度比)

- ◎町民税(3,903万4千円増)  
扶養控除廃止に伴う増収による。
- ◎固定資産税(1億8,329万7千円増)  
負担調整措置による固定資産税土地、新築家屋の増による。
- ◎国庫支出金  
民生費国庫負担金(1億3,999万9千円増)  
自立支援介護給付・訓練等給付事業利用者数増加に伴う増
- ◎教育費国庫負担金(9,843万2千円増)  
北谷中学校耐震対策事業、伊礼原遺跡用地買上に係る増。
- ◎県支出金  
民生費負担金(5,741万円増)  
主に障害者自立支援給付費県負担金の増による。
- ◎一括交付金(5億5,119万9千円増)  
新たに創設された。
- ◎繰入金  
基金繰入金(6億2,099万3千円増)  
予算額調整、防災拠点整備事業、桑江伊平土地画整理事業、フィッシュアリーナ整備事業に係る財源に繰り入れ。

### 減少(対前年度比)

- ◎地方交付税  
町税の増収見込みによる基準財政収入の増、給与関係費の削減が交付税算定に盛り込まれたため。
- ◎国庫支出金  
土木費国庫補助金(5億2,322万7千円減)  
桑江伊平土地画整理事業交付金・地域住宅支援交付金が一括交付金の創設に伴い県支出金となるためによる減。
- ◎財産収入(3億7,964万7千円減)  
不動産売却収入の減  
桑江伊平土地画整理事業保留地処分金の減。

## 歳出予算増減のポイント

### 増加(対前年度比)

- ◎総務費  
企画費(5億4,081万5千円増)  
防災拠点整備に伴う公有地財産購入に係る増。
- ◎民生費  
社会福祉総務費(7,319万9千円増)  
主に国民健康保険特別会計繰出金増による増。
- ◎障害福祉費(2億4,183万8千円増)  
主に自立支援介護給付・訓練等給付事業費に係る増。
- ◎衛生費  
予防費(3,497万2千円増)  
公費助成によるワクチン予防接種事業に係る増。
- ◎商工費  
商工振興費(3,956万3千円増)  
主に北谷町観光情報センター建設工事に係る増。
- ◎教育費  
学校建設費(小学校・中学校費1億2,039万8千円増)  
主に、北谷中学校耐震対策事業に係る増。
- ◎文化費(7,749万3千円増)  
伊礼原遺跡用地取得事業費に係る増。
- ◎諸支出金  
浜川漁港多目的利用施設整備地区開発基金積立金。(3億4,468万円増)  
フィッシュアリーナ地区処分金を積立てるためによる増。

### 減少(前年度対比)

- ◎土木費  
土地画整理費(2億6,148万4千円減)  
主に桑江伊平土地画整理事業費に係る減。
- ◎公園費(3,939万8千円減)  
主に北玉公園整備事業土地購入等に係る減。
- ◎公債費(2,612万8千円減)  
主に起債発行抑制により起債残高減少に伴う起債償還額の減。



# わたしたちの日常生活に大きくかかわる会計 平成 25 年度 特別会計予算

原案  
可決

## 北谷町国民健康保険特別会計予算

### 36億4,561万7千円

前年度予算 36 億 5,432 万 3 千円  
に比べ 870 万 6 千円(0.2%)の減。

#### 主な歳入 (町民の税金と国・県の補助金等) ( )は前年比

|                        |             |          |
|------------------------|-------------|----------|
| 国民健康保険税                | 7億5,246万9千円 | (1.6%増)  |
| 世帯数及び被保険者数の増加による。      |             |          |
| 国庫負担金・療養給付等負担金         | 7億9,317千円   | (1.1%増)  |
| 後期高齢者支援金及び介護納付金の増加による。 |             |          |
| 国庫補助金・財政調整交付金          | 4億1,555万6千円 | (6.7%減)  |
| 県補助金・財政調整交付金           | 1億7,747万5千円 | (9.5%減)  |
| 繰入金・一般会計繰入金            | 6億7,947万4千円 | (12.5%増) |

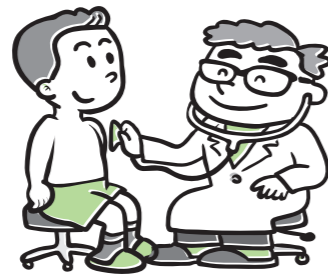
#### 主な支出 (医療費などこのように使われます)

|                   |              |         |          |
|-------------------|--------------|---------|----------|
| 保険給付費・一般被保険者療養給付費 | 16億8,600万1千円 | (1.7%減) | (町民の医療費) |
| 一般被保険者高額療養費       | 2億290万円      | (5.8%減) |          |
| 後期高齢者支援金          | 5億5,247万6千円  | (6.6%増) |          |
| 介護納付金             | 2億3,447万9千円  | (7.0%増) |          |
| 共同事業拠出金           | 6億5,926万1千円  | (1.0%減) |          |

※後期高齢者支援金とは……高齢者を支援するための(0歳から74歳まで対象となる)税金。  
徴収された税金は後期高齢者医療保険広域連合に納める。

※共同事業拠出金とは……高額医療費の財政を安定させるため拠出されるお金。  
(1件当たり30万から80万円未満の医療に対して)  
沖縄県国民健康保険団体連合会から交付される。

特定健康診査は  
受診率向上のため、  
前年度に引き続き  
個別検診、集団検診  
自己負担額無料!!



受診率向上で  
病気の早期発見・早期治療  
↓  
健康保持・医療費抑制  
につながる

## 北谷町後期高齢者医療特別会計予算 2億7,669万円

前年度予算2億6,504万円に比べ1,165万円(4.2%)の増。被保険者の増加による。

## 北谷町公共下水道事業特別会計予算 6億9,108万7千円

前年度予算額8億5,049万5千円に比べ1億5,940万8千円(18.7%)の減は  
桑江伊平地区土地区画整理事業の繰越分の減。

## 北谷町水道事業会計予算 8億5,111万2千円

前年度比1,864万9千円の増。給水戸数1万1千160戸、年間給水量395万4千529m<sup>3</sup>  
の見込み増。嘉手納基地、キャンプ瑞慶覧基地給水料1億9,682万5千円の見込み。

# とくに力を入れる施策は! 賑わいと活力ある北谷町の実現!

### 平和行政・基地問題の解決

○日本国憲法と「北谷町非核宣言」  
理念の下、平和なまちづくりを推  
進。

○基地負担の軽減を図るため、オ  
スプレイ配備計画に断固反対し日  
米地位協定抜本的改定に引き続き  
全力で取り組む。

○沖縄県が掲げる跡地利用計画の  
整備基本方針(中南部都市圏駐留  
軍用地跡地広域構想)と整合を図  
りキャンプ桑江北側地区は、「職  
住近接型」のまちづくりを推進、  
南側地区は産業振興による雇用の  
確保と環境・福祉・教育に配慮し  
たまちづくり推進。

### 産業の振興と雇用の創出

○商観光産業の振興と経済の活性  
化に努め、リーディング産業であ  
る観光・リゾート産業を重点とし  
た産業基盤整備を図り雇用・就業  
の場の確保に努める。

○地場産業の支援と特産品開発や  
町産品の情報発信の調査・研究に  
継続して取り組む。

○町民農園設置整備基本計画に取  
り組む。

### 子育て支援・健康づくり 推進・福祉の充実

○待機児童の解消、多様な子育て  
支援サービスの提供。

○障がい者相談支援の充実強化、  
障がい者支援ネットワーク構築を  
図る。

○ワクチン予防接種の公費助成を  
継続実施。

○「第2次健康ちゃん21」に基  
づく運動習慣者の増加、食生活改  
善に取り組む。

### 住みよい住環境の整備

○地域特性に合った道路、公園、  
上下水道等の生活基盤整備を行う

○「国道58号拡幅事業」が円滑に  
推進するよう国と連携、「県道24  
号線バイパス整備事業」を促進バ  
ス路線の整備も継続し協議してい  
く。

○北谷町宮城2号3号線改良事  
業。

○墳墓の集約化を図り新川墓地公  
園の活用推進。

○災害対策機能の確保・強化等目  
的とした防災拠点施設の整備内で  
検討協議する。

### 教育・文化等の推進

○語学力や国際感覚を持った人材  
育成を図るための施策に取り組  
む。

○全幼・小・中学校に英語指導助  
手を配置。

○経年劣化の進む教育施設の改善  
と調査に取り組む。

### 行財政改革の推進

○職員により高度な政策形成能力  
と実行能力を高め、行政組織の見  
直しや運営体制の継続的な検討。

○財政の健全化を図り各分野に歳  
出経費の抑制と効率化に努める。

○公文書管理法を踏まえ全庁的な  
文書管理体制作りを推進し、積極  
的な情報公開に取り組む。

○経常経費削減と事務の効率化等  
を図るため事務事業の広域的対応  
を図り関係市町村と連携し広域行  
政推進を強化。

# 平成25年度 事業箇所

## ⑥庁舎周辺整備事業

平成24年度事業費 5,494万1千円  
平成25年度事業費 4,400万円



## ⑦北谷町観光情報センター整備事業

平成24年度事業費 94万5千円 (土質調査)  
平成25年度明許繰越事業費 5,619万5千円  
平成25年度事業費 3,000万円



## ⑧町立博物館用地取得事業

平成24年度明許繰越事業費 4億1,868万円



## ⑨宮城 2 号線改良事業(高潮対策)

平成24年度事業費 2,155万4千円  
平成25年度事業費 6,130万円



## ①北谷中学校耐震対策事業

平成24年度事業費 1,079万4千円  
平成25年度事業費 9,036万8千円



## ②防災拠点整備事業

ポリテクセンター沖縄の運動場跡地を活用  
平成24年度事業費 283万5千円  
(北谷町防災拠点等基本構想策定業務)  
平成25年度事業 5億4,000万円  
(用地買収、基本計画策定等)



## ③西海岸歩行者ネットワーク整備事業

平成24年度事業費 9,438万9千円  
平成25年度事業費 3,250万円



## ⑤浜川小学校屋内運動場改築事業

平成24年度事業費 3,181万5千円  
平成25年度事業費 1,997万円



## ④フィッシャリーナ整備事業

平成24年度事業費 4,200万5千円  
平成25年度明許繰越事業費 8,798万6千円  
平成25年度事業費 2億7,770万5千円



# 陳情・抗議決議・意見書

**採択 可決**

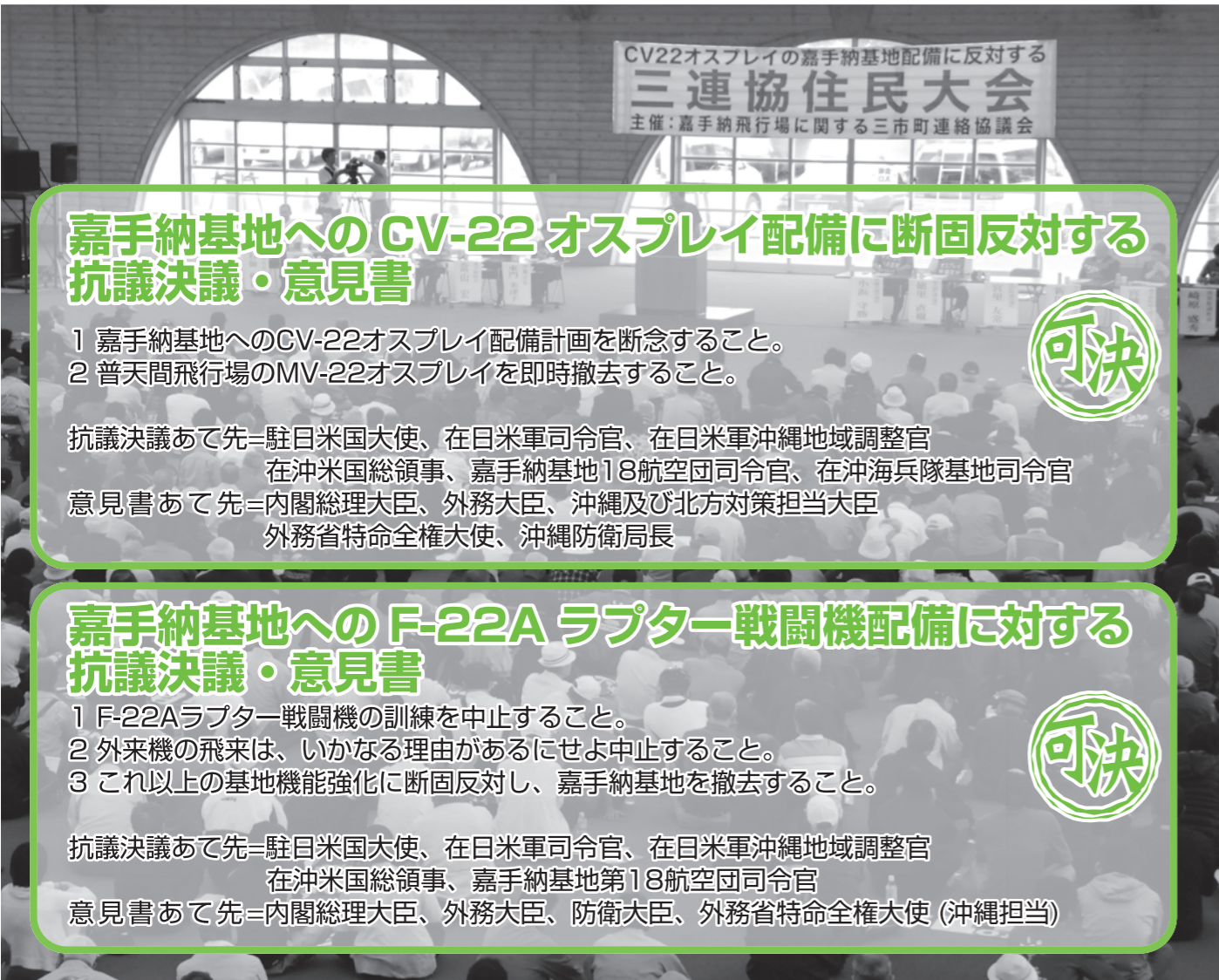
「年金2.5%の削減中止を求める意見書」  
採択に関する陳情・意見書

※2013年10月からの2.5%の年金削減を中止すること。  
あて先＝内閣総理大臣、厚生労働大臣

**採択 可決**

「生活保護基準引き下げはしないこと」など国に意見書提出を求める陳情・意見書

※生活保護基準の引き下げはしないこと。  
あて先＝内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣



## 嘉手納基地へのCV-22 オスプレイ配備に断固反対する抗議決議・意見書

1 嘉手納基地へのCV-22オスプレイ配備計画を断念すること。  
2 普天間飛行場のMV-22オスプレイを即時撤去すること。

**可決**

抗議決議あて先＝駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官  
在沖米軍総領事、嘉手納基地18航空団司令官、在沖海兵隊基地司令官  
意見書あて先＝内閣総理大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣  
外務省特命全権大使、沖縄防衛局長

## 嘉手納基地へのF-22A ラプター戦闘機配備に対する抗議決議・意見書

1 F-22Aラプター戦闘機の訓練を中止すること。  
2 外来機の飛来は、いかなる理由があるにせよ中止すること。  
3 これ以上の基地機能強化に断固反対し、嘉手納基地を撤去すること。

**可決**

抗議決議あて先＝駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官  
在沖米軍総領事、嘉手納基地第18航空団司令官  
意見書あて先＝内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）

# 平成24年度 北谷町一般会計・特別会計補正予算

**一般会計**

**補正前の額** 152億1,550万3千円  
**補正（第6号）額** △1億3,764万1千円  
**補正（第7号）額** 3億4,091万3千円  
**補正後の額** 154億1,877万5千円

**【補正（第6号）】**  
歳入の主な理由 諸収入 1,497万7千円  
(フィッシャリーナ整備事業基盤整備工事において工事請負前払金保証金の受入による増)  
漁港建設費 1,497万8千円  
(フィッシャリーナ整備事業基盤整備工事において改めて工事を実施するため増)  
財政調整基金積立金 △1億5,261万8千円  
(今回の補正予算で生じた増減調整のため補正減)

歳出の主な理由 国庫支出金 1億6,501万3千円 (主に浜川小学校屋内運動場改築事業国庫補助金)  
町債 3億3,440万円  
財産収入 △1億2,891万8千円  
(主に博物館用地取得計画の見直しに伴い年度内に処分する保留地の減)

**【補正（第7号）】**  
歳入の主な理由 普通建設事業費 4億9,585万5千円 (主に浜川小学校屋内運動場改築工事)  
積立金 4,219万1千円 (主に財政調整基金積立金)  
民生費 △2億9,089万2千円  
(主に保育所緊急整備事業補助金が次年度まで延長となったことから、事業実施を翌年度とするため。)



**国民健康保険特別会計**

**補正前の額** 39億5,990万1千円  
**補正額** △1億1,399万8千円  
**補正後の額** 38億4,590万3千円

【補正内容】主に保険給付費、共同事業拠出金について決算見込み額に基づく減額補正。



**後期高齢者医療保険特別会計**

**補正前の額** 2億6,830万7千円  
**補正額** 264万3千円  
**補正後の額** 2億7,095万0千円

【補正内容】後期高齢者医療広域連合納付金の増額。



**公共下水道事業特別会計**

**補正前の額** 8億7,315万3千円  
**補正額** 1,097万2千円  
**補正後の額** 8億6,218万1千円

【補正内容】総務費を増額し施設費及び予備費を減額。



# 条例改正・規約・契約・規約変更・任命



## 条例改正

○北谷町総合計画条例  
地方自治法の改正により、市町村の基本構想策定義務が撤廃されたが、まちづくりの基本理念や町の目指す新しい将来像、それを実現するための目標等を定める基本構想を含めた総合計画の策定が不可欠。

○北谷町議会委員会条例の一部を改正する  
地方自治法の改正によるもの。これまで法律で定めていた委員会の選考方法、在任期間等条例で委任する旨の改正。

○北谷町一般職の任期付職員採用に関する条例  
地方公共団体の行政の高度化及び専門化の進展に伴い、専門的な知識経験者や優れた見識を有する者の採用の円滑化を図るため。

○北谷町防災会議条例の一部を改正する条例  
町村災害本部の規定が新たに設けられた。

○北谷町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例  
深刻化する経済情勢等で公務員の減給保障額の引き下げ、持ち家にかかる住居手当の廃止。

○北谷町重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例及び北谷町障害者地域活動支援センターの設置及び管理に関する一部を改正する条例

○北谷町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○北谷町町道の構造の技術的基準を定める  
道路法が改正され、管理者である地方公共団体が道路の構造の技術的基準を条令で定める必要がある

○北谷町移動等円滑化のための必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める

○北谷町附属期間設置条例の一部を改正

○北谷町新型コロナウイルスエンザ等対策本部条例制定  
全国的かつ急速な、蔓延の恐れのある新型コロナウイルス感染症に対する対策の強化、国民生活国民経済に及ぼす影響を最小限にする目的。

○北谷町議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する  
政務調査費の交付に関する条例「政務調査費」を「政務活動費」に改める。  
賛成16 反対1

**反対討論**  
政務調査費を制定する時、議会でも議論を重ね、額・人の内容等厳しく住民に監査してもらおうと公開。人の明確が行われている。しかし、今、条例は、事務費や人件費にも当てることができるということで人の拡大が非常に曖昧。住民の理解を得るのは厳しい。政務調査費を政務活動費に変更するとその他の活動も広げるといって非常に曖昧さを残す点がある。

**賛成討論**  
平成21年度から施行され、各自に必要な調査研究ができるようになった。これは当該条例の趣旨に即したもので、町政に関する調査研究に資するために各議員の資質の向上に必要な経費の一部として寄与されるものであり、その目的達成のために大いに貢献している。

規則改正  
○北谷町議会委員会規則の一部を改正する規則  
公聴会の開催や参考人の招集できるようになった。

## 規約の変更

○中部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約  
共同処理する事務に社会福祉法人の指導監督に関する事務を加える。

○沖縄県介護保険広域連合規約  
「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改正。

○沖縄県後期高齢者医療広域連合規約  
住民基本台帳法の改正及び外国人登録法の廃止に伴う規約の一部変更。

**\*政務活動費とは**

○議員が実施する調査研究、研修、広報、公聴、要請陳情  
○住民相談、各種会議への参加  
○等調整の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して一部が交付される

**\*任期付職員の採用とは**

○育成に相当な期間を要するための専門職や急速に進歩する技術に係るもの。  
今回、文化財の記録を平成27年までに保存記録を策定し報告する業務採用。  
他団体の事例は、防災機器管理官、情報制作担当、建築技術職、作業療養士等が採用されている。

## 請負契約

○平成24年度桑江伊平地区粗造成工事(その2)  
契約の方法：指名競争入札による  
契約の金額：5,783千250円  
契約の相手方  
住所：北谷町字砂辺301番地7  
商号：有限会社 北原土木  
代表者 代表取締役 喜如嘉朝和



## 同意

教育委員再任  
傳道光枝氏  
濱崎まなみ氏

# Q 第61回北谷町総合展示会・第1回北谷町商工会フェアと題して移転開催したねらいは

**A** 中日ドラゴンズとの連携により、本町に訪れた人々との交流を通じて、町内外に観光情報と観光地としての集客効果につなげていくのがねらい

**問** 総合展示会の①成果と課題  
②来客数と出店数および出店業種・売り上げ金額は。  
**答** ①前回と比較して来場者が約3.7倍に増加し、観光客を含む多くの人々の来場によって、地域の特色ある産業を醸成する気風づくりができた。前回と比較して子どもや高齢者の方々の来場が少なかったとの印象。  
②来場者数は、延べ2万2千人、建築関連事業者12社、太陽光関連事業者2社、健康、ファッション関連事業者6社、町産品関連事業者2社、飲食関連事業者12社、ゲーム関連事業者2社、役場関連事業者



かめがた ちようきゆう 議員 亀谷長久

**問** 生涯学習の一人ひとりに生涯学習への参加意欲をうながし、生涯学習の一層の振興を図ること。第18回生涯学習まつりと今回の生涯学習まつりを比較してみると、例年より多い観客があり、また、公民館講座、プラザサークル、社会教育団体の作品展示発表があり、にぎわいを見せた。  
**答** 課題につきましては、駐車場を含め生涯学習まつりの舞台発表、展示発表のにぎわいが外につながるような工夫をすることが必要。  
商品化については出品者との権利関係があるので、各人の商品化することに期待。  
**問** 生涯まつりが発展していくためには、町民と関係団体、そして行政との協働が重要と思うが。  
**答** 現在、町教育委員会、公

**問** 今年度の生涯まつりのねらいと成果および課題と出品作品の商品化は。  
**答** 町民の一人ひとりに生涯学習への参加意欲をうながし、生涯学習の一層の振興を図ること。第18回生涯学習まつりと今回の生涯学習まつりを比較してみると、例年より多い観客があり、また、公民館講座、プラザサークル、社会教育団体の作品展示発表があり、にぎわいを見せた。  
**問** 今回の生涯まつりのねらいと成果および課題と出品作品の商品化は。  
**答** 町民の一人ひとりに生涯学習への参加意欲をうながし、生涯学習の一層の振興を図ること。第18回生涯学習まつりと今回の生涯学習まつりを比較してみると、例年より多い観客があり、また、公民館講座、プラザサークル、社会教育団体の作品展示発表があり、にぎわいを見せた。

## 北谷中学校 テニスコート改修

**問** テニス部があるか。部員は何名か、指導者はいるか。  
**答** 硬式のテニス部があり、平成24年度現在の3年生も加えて、男子33人、女子30人、計63人。指導者は、男子に3人、女子に3人、計6人の指導者がいる。  
**問** テニスコート改修の要請は。  
**答** 昨年、校内の樹木撤去や施設の改善などと併せて、校長から要望を受けている。  
**問** テニスコートの改修の計画は。  
**答** 平成25年度に北谷中学校校舎の耐震補強工事を予定しており、作業区域に掛かるこ



北谷中学校テニスコートは改修されるのか

# Q 野国町長、3期目の出馬の意向は

**A** 町民の皆様の御理解と御支援を賜り、3期目に向け全力で頑張る



てるや まさはる 議員 照屋正治

**問** 基地問題等について  
C V 22 オスプレイが米軍嘉手納飛行場に配備されるとの報道に伴い、三連協としても住民大会が行われるが、具体的な取り組みは。  
**答** 来る4月21日に、本町で住民大会を開催。多くの皆様に参加を呼び掛け、二度と配備計画が浮上しないよう取り組む。

**問** 町内に4か所の歩車分離式信号機を設置。歩行者用信号を見て、車両の信号無視がある。看板等が必要と思うが。また、同交差点をスクランブル横断にする考えは。  
**答** 歩車分離式信号に不慣れなドライバーによる信号無視を誘発させるという一因もある。歩行者の安全確保という

## 交通安全対策および歩道等の整備は

## 教育行政について

**問** キャンプ桑江北側の区画整理地内の大部分が供用開始され、その大部分が浜川小学校区になる。今後、見直しを含め、検討が必要と思うが。  
**答** 他校との在籍数のバランスを図る必要性が生じた場合は、登下校の安全面の配慮も



横断歩道の位置はこのままでいいの？

**問** 米軍人・軍属の基地外居住者数及び世帯数は。  
**答** 米軍人等の施設区域外で4千4人が平成23年3月31日時点の数値として公表され、世帯数については未公表。  
**問** 新年度4月から騒音測定方法がW値からエルデンに変更されるが、どのような影響が考えられるか。  
**答** W値は、騒音が持つエネルギーの大きさを推計値で示すもので、エルデンは、より精密で、実体に近い騒音が持つエネルギーの大きさを示すもの。現状に適した正確な騒音測定が実施される。  
**交通安全対策および歩道等の整備は**  
**問** 町内に4か所の歩車分離式信号機を設置。歩行者用信号を見て、車両の信号無視がある。看板等が必要と思うが。また、同交差点をスクランブル横断にする考えは。  
**答** 歩車分離式信号に不慣れなドライバーによる信号無視を誘発させるという一因もある。歩行者の安全確保という観点から、関係課と連携し、対策に取り組む。スクランブル横断は、メリット、デメリットの両面から検討していく。  
**問** 役場周辺の防犯灯や街路灯、植栽の完了予定は。  
**答** 桑江伊平地区植栽工事を平成25年2月28日から5月31日までの工期。町道奈留川線については、次の植栽工事を実施する。街路灯は今年6月を発注予定。防犯灯は、道路管理者及び担当課と協議を行っていききたい。  
**問** 桑江17号線の通行時間帯の見直しは。  
**答** 安全性の確保に問題があり、通常道路としての取り扱いができないことから、利用形態や利用時間を制限。  
**教育行政について**  
**問** キャンプ桑江北側の区画整理地内の大部分が供用開始され、その大部分が浜川小学校区になる。今後、見直しを含め、検討が必要と思うが。  
**答** 他校との在籍数のバランスを図る必要性が生じた場合は、登下校の安全面の配慮も含め、校区の再編成を図っていききたい。  
**問** 浜川小正門前の横断歩道は、旧校舎正門前のままになっているが、位置を変えることはできないか。  
**答** 屋内運動場及び幼稚園園舎の改築事業により生じる児童の登下校への影響を踏まえながら、学校側の意見も伺い、関係部局と協議する。  
**問** 子育て支援の観点から給食費の無料化や半額、第3子以降を無料化する自治体が増えている。本町の考えは。  
**答** 現在の本町の財政状況では、給食費の無料化等は厳しいものと考えております。



# Q 町長の施政方針の主要施策の中で平成 25 年度重点的に取り組む事業は、予算措置にどの程度反映されているか

**A** 施政方針における「平和行政と基地問題の解決促進」をはじめ、6つの基本的考え方に基いた施策を実施するため予算編成を行った

**問** 若者から高齢者まで健康で楽しく暮らせる環境を醸成し、生活習慣病の予防及び早期発見による重症化予防につなげ、ひいては医療費の抑制につながるよう、より一層の努力をする。保健師の増員は、新たな保健師体制の導入後の効果や課題等を勘案して、検討する。

**答** 若者から高齢者まで健康で楽しく暮らせる環境を醸成し、生活習慣病の予防及び早期発見早期治療につなげ、医療費を抑制するため保健師を増員し体制を一層充実する考えは。

## 健康なまちづくり体制充実



あさま ちやうえい 議員 洲鎌長榮

**問** 今年度で町民農園に関する予算が計上されているが具体的な内容は。

## 町民農園

**答** 「町民農園整備計画策定業務」の執行を予定しており、その内容は大別して3項目ある。1つ目は町農政の現状等環境の調査。2つ目に整備計画の策定。3つ目に整備に当



試験的に活用されている町民農園 桑江公民館前

# Q 浜川小学校屋内運動場改築で、地域住民は日照や景観問題等を懸念。説明会を行う予定は。また、供用開始は

**A** 近隣住宅地等への日影の影響調査を行い、建築基準法による日影規制に適合。5月頃、説明会を予定。供用開始は平成 26 年 3 月を予定



おおはま やすこ 議員 大浜ヤス子

## 教育行政

**問** ①幼稚園児の預かり保育の拡大は②特別支援教育支援員の派遣対象者は何人で、支援員は何人か。  
**答** ①30名まで拡大。定数を超えた場合も対応する②対象者は106名。特別支援教育支援員の派遣数は幼小中あわせて30名。  
**問** スポーツ界の体罰・暴力が重大な社会問題だが、本町の実態は。  
**答** 練習中の暴言が1件。  
**問** ①築30年余になる給食センターを建て替えて、環境の整備を図る考えは②学校給食法の7つの目標を達成するための取り組みは③食物アレルギーを持つ児童生徒の実態は④給食費の徴収率は⑤一括交付金で学校給食の無料化を図ることは。

## 健康づくり

**問** 健康寿命の延伸を目的とするための各種健康づくりの施策は。  
**答** 健診受診率の向上に向けた取組を強化し、各自治会や関係団体との連携で、健診の重要性について積極的な啓発活動を行う。  
**問** 2010年の都道府県別生命表で、沖縄の女性は19

## 道路行政

**問** 町道認定された路線で事業化されていない路線は何路線あるか。事業化されていない理由について、今後の見通しは。  
**答** 事業化されていない路線は3路線あり、諸事情等により休止や一部未執行等は7路線。理由は、用地購入や物件補償等の地権者との折り合いがつかなかったり、米軍施設の一部返還等に係る課題等もある。今後の見通しは、地権者のご理解を得るよう努力し、米軍提供施設に係る課題等は、沖縄防衛局との協議を継続していく。

## 社会教育

**問** ①施政方針で、社会教育関係団体の求めに応じ、専門的技術的指導や助言を与えるとともに、社会教育における諸団体の活動を支援とある。

## 公営住宅の増設地

**問** 本町の住宅の家賃は近隣市町村に比べて高い水準である。将来の本町の活性化等の見地から公営住宅の設置を検討するべきでは①賃貸住宅の戸数はどの程度あるか人口比で近隣市町村との比較は②人口比で公営住宅の近隣市町村との比較は。  
**答** ①概ね4,120戸と推定。近隣の町村との比較は、数値が高く近隣の市との比較は、若干低い状況②本町の公営住宅数は、県営住宅を合わせて896戸。公営住宅の人口比としては、本町が5近隣市町村の指標を上回る結果となる。

95.99%⑤学校給食の無料化を図ることは厳しい。

**問** ①学校給食センター施設整備基本構想を策定する②栄養教諭・学校栄養職員による適切な栄養管理を行い、行事や旬な食材・県内の産物を活用した給食の立案に取り組んでいる③幼・小・中学校の合計で227名④平成23年度で、95.99%⑤学校給食の無料化を図ることは厳しい。

## 認知症対策

**問** ①認知症対応型協働生活介護事業所の供用開始時期は。また職員体制等は②現在、認知症と診断された人数及びサービスを受けている人数は。  
**答** ①宮城区は開所、宇地区は4月の開所予定、上勢区は、8月の開所予定。「指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準」に基づき運営②認知症症状を有する方は641人。居宅介護サービス受給者が519人、施設介護サービス受給者が128人。

75年からの首位を3位に男性は30位と順位を下げた。北谷町は、現時点で何位にあるか。  
**答** 県内での本町の状況は、男性で3位、女性で4位。  
**問** ①社会教育団体の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導・助言を行っている。②本人からの参加申込書と学校からの推薦書を提出し、課題に対する意見文と英語及び日本語での面接による選考試験を行い決定。



日照や景観問題等が懸念される。





# Q 北谷町6校の給食残量が平均25パーセント、食材費と残量費を1年間に換算した場合いくらになるか

**A** 1年間の一校あたりの食材費は平均2千458万円。残量費は残量調査データから試算すると平均484万円、処分費用手数料は66万円になる



なかえま えみこ 仲栄真恵美子議員

**問** 教育行政

**問** 学校給食のスタンレストレーはマナーの面から是非改善が必要だと思いませんか。PTA連合会等から多くの改善要望がある。課題をクリアした施設の改善、整備を含めて検討していく。

**答** PTA連合会等から多くの改善要望がある。課題をクリアした施設の改善、整備を含めて検討していく。

**問** 残量調査の結果を受けて町では、子ども達への給食アンケート調査を行ったことがあるか。

**答** 今後、アンケート調査を実施し、献立や調理の工夫など検討し、食育の指導の充実に向けていきたい。

**問** ポリテクセンターグラウンド跡地買い上げで給食センター

**問** 産業展示会

**問** 昨年までの「ニライまつり」を生涯学習まつりと産業まつりを別会場で開催した理由は。

**答** 産業振興の更なる発展を目指すため、観光客を含めた来場者の開拓、中日ドラゴンズとの連携で特色ある産業総合展示会にするのが主な理由。

**問** 各会場での町民の来場者、また、町外（観光客ふくむ）からの来場者の概数は。

**答** 産業まつりへの来場者は二日間約2万2千名町外からの数については把握していない、ドラゴンズの春季キャンプの見学に訪れた観光客など前回に比べかなり増えた。

**問** 産業展示会への出品農作物の数が減った理由は。

**答** 従来の1世帯3品目を2品目に縮減協力した。

**問** 産業展示会は、ニライセーター前駐車場で行えないか。

**問** 子育て支援

**問** 現在の待機児童数は②今後の人口増加や出生数の見込み、それに向けて財政的なことも踏まえた保育所設置の在り方等々、シミュレーションし検討されているか③キッズルームの設置状況は。

**答** ①83人②就学前児童数は、減少すると予測。ニーズ調査の結果、待機児童を解消するため、1,150名の定員拡大を図る③一括交付金の活用による事業実施にむけて検討中。

**問** 準要保護世帯の総合支援計画は。

**答** 平成25年度以降に、北谷町での実施を検討中。



**問** 健康づくりの推進

**問** 長寿を誇っていた沖繩県の平均寿命が、女性も順位が3位に転落、男性は更に30位に転落。元気で長生きするための健康づくりで、これまでの成果は。

**答** 「健康ちゃん21」を策定

**問** 北谷町職員の内、町外在住は

**問** 今回13名の定年退職者がいる、退職者の町内、町外在住の数を伺う。

**答** 町内在住者は12名、町外在住者は1名。

**問** 退職者のほとんどが役職つき、後任の役職に着く町内、町外在住の内定の数は。

**答** 係長以上の者が9名、後任は、町内在住者は5名、町外在住者は4名。

# Q 都市計画、土地利用計画の中で、墓地計画・条例等の策定が急務では

**A** 墓地等経営許可事務が、本町への権限委譲に向けて取り組むその手続きと併行して例規の整備を行う



たまなほ ひでこ 玉那覇淑子議員

**問** 住みよい住環境の整備、墓地対策

**問** 個人墓地の散在化が課題。①個人墓は何基あるか②立地可能地や墓地区域の選定は③現在、お墓はどこにでも建てられるのか④建設の際、登録は義務づけられているか。

**答** ①1,498基②各自治会の協力の下で選定を行う③知事の許可を得ているのが現状。④県が、墓地の経営許可をし、墓地台帳に登録される。

**問** 都市計画の上から、墳墓の散在化の防止が必要。公営

**問** 産業の振興と雇用の創出、農水産業の振興

**問** 施政方針の中で、観光・健康商品として、収益性の高い作物等への転換や有機農業を奨励し、家庭菜園を活用した農業参加の意識と意欲の高揚を図るための施策を推進とある①具体的な施策は②本町の農地面積、農家人口は③海業振興センター開設、農水産物の直売店、チャレンジ店舗設置が計画されている。具体的な施策は。

**答** ①町民農園の整備計画策定と流通窓口機能を担う施設として海業振興センターの開業を目指す②6,231㎡。町内外の合計で30戸③水産品は、

**問** 健康づくりの推進

**問** 長寿を誇っていた沖繩県の平均寿命が、女性も順位が3位に転落、男性は更に30位に転落。元気で長生きするための健康づくりで、これまでの成果は。

**答** 「健康ちゃん21」を策定

**問** 特定健診受診率を上げよう!! 疾病の早期発見・早期治療!!

**問** 非婚の母の身障除「みなし適用」

**問** 一人親の子育ての負担軽減をする措置だと考える。本町の実施状況と適用は。

**答** 保育料の算定において「寡婦控除のみなし適用」を実施。

**問** 子育て支援

**問** 現在の待機児童数は②今後の人口増加や出生数の見込み、それに向けて財政的なことも踏まえた保育所設置の在り方等々、シミュレーションし検討されているか③キッズルームの設置状況は。

**答** ①83人②就学前児童数は、減少すると予測。ニーズ調査の結果、待機児童を解消するため、1,150名の定員拡大を図る③一括交付金の活用による事業実施にむけて検討中。

**問** 準要保護世帯の総合支援計画は。

**答** 平成25年度以降に、北谷町での実施を検討中。

**問** 北谷町漁業協同組合が中心となる。農産品を出店できる農家がいない状況。

**問** 子育て支援

**問** 現在の待機児童数は②今後の人口増加や出生数の見込み、それに向けて財政的なことも踏まえた保育所設置の在り方等々、シミュレーションし検討されているか③キッズルームの設置状況は。

**答** ①83人②就学前児童数は、減少すると予測。ニーズ調査の結果、待機児童を解消するため、1,150名の定員拡大を図る③一括交付金の活用による事業実施にむけて検討中。

**問** 健康づくりの推進

**問** 長寿を誇っていた沖繩県の平均寿命が、女性も順位が3位に転落、男性は更に30位に転落。元気で長生きするための健康づくりで、これまでの成果は。

**答** 「健康ちゃん21」を策定

**問** 北谷町職員の内、町外在住は

**問** 今回13名の定年退職者がいる、退職者の町内、町外在住の数を伺う。

**答** 町内在住者は12名、町外在住者は1名。

**問** 退職者のほとんどが役職つき、後任の役職に着く町内、町外在住の内定の数は。

**答** 係長以上の者が9名、後任は、町内在住者は5名、町外在住者は4名。



# Q 健診の無料化の対象を20代、30代に実施する考えはないか

**A** 現在行われている特定健診の無料化の効果を見極めながら対応を検討したい



なかむら しげいち 中村 重一 議員

現在行われている特定健診の無料化の効果を見極めながら対応を検討したい

**問** 健診を無料で実施した場合、費用はどの程度が見込まれるか。  
**答** 一人あたり7000円の健診費を徴収しているので、受診率30%を目標とした場合、約167万4千円の追加負担が必要。

## 町民の健康

**問** ①本町における小・中学校での食育、健康指導はどうか②児童・生徒の肥満健康等、健康状態について伺う。  
**答** 栄養教諭を中心に学校の食に関する指導の全体計画や各学年の実態に応じた年間指導計画を作成。計画的に指導を進めている。②肥満傾向にある児童・生徒は小学校で42人で全体の2%。中学校で5人、

**問** 地域経済の活性化、住民の居住環境の向上を図るために住宅リフォーム助成制度の実施について伺う。  
**答** 住宅リフォーム助成の導入は、前向きに取り組んでいる。今後商工会など関係団体とも意見交換しながら早い時期に導入の考え。

## 住宅リフォーム助成と小規模事業者登録制度

**問** 町の発注する小規模工事

**問** 給食センターの調査の後の計画と取り組みは。  
**答** 次年度方向性を示す「学校給食センター施設整備基本構想」を策定する計画。  
**問** ①商工会、老人福祉センターの耐震診断調査の結果②今後の建て替え計画を伺う。  
**答** ①今年度調査を実施し現在耐震診断評価機関の審査を行っている。②この審査結果をもとに今後作業を進めていく予定。

## 給食センター等公共施設の建て替

## 本町の基地の実態



商工会・老人センター耐震調査結果は？

**問** 町外地主は何人か。  
**答** キャンプ桑江①地主数637人②946筆③67万5千平方メートル④年賃借料10億5千4百万円。  
キャンプ瑞慶覧①地主数1,633人②3,485筆③257万1千平方メートル④年間賃借料36億8千4百万円。  
陸軍貯油施設①348人②372筆③40万8千平方メートル④年間賃借料5億6千8百万円。

# Q 町職員の福利厚生費、本町は公表しているか

**A** 北谷町職員厚生会への公費負担状況は平成20年度から町ホームページで公開している



おおつuka いさむ 大額 勇 議員

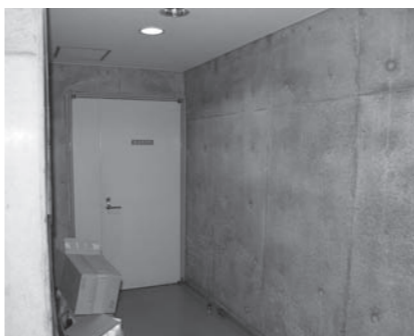
福利厚生費の県内市町村の公表率は50%以下、県から公表するように求められていると思うが。  
**答** 県内市町村の公表率は47%（平成25年2月時点。人事運営等の状況の公表の一環として事業の適正な実施、公表が求められている。  
**問** ①職員互助会に補助金を支出しているか②支出しているのであれば補助金はいくらか。  
**答** ①町からの補助金として、平成18年度73万5千円。平成19年度は72万円②平成20年度

## 北谷町職員労働組合事務所

からは北谷町職員厚生会への補助金は廃止している。  
**問** 町職員労働組合事務所の①家賃②電気料③水道料等の徴収、年額を伺う。  
**答** ①家賃は、北谷町行政財産使用料条項に基づき、使用料は免除②電気料は、沖縄電力の定める1月当たりの電気料金、基本使用量を電気使用量として徴収③水道料は、1月あたりの使用水量を基本料金の10立方メートルとして設定し、水道料を年額3万2,124円徴収。

## 北谷町建設工事等に係る指名業者選定委員会

**問** 弘建設は、社名変更して1年後に倒産。指名業者選定委員会が誰が弘建設を推薦したか。  
**答** 本町で、発注する工事等は「指名業者選定委員会規定」に基づき、指名業者の選定を行っている。  
**問** 社名変更した理由を指名業者選定委員会で問題にならなかったか、何の疑問もなかったか。  
**答** 業者選定は、指名業者選定委員会規定に基づき適正に行われている。今回の工事の処理も、工事請負契約書に基づき解約の処理や請負工事金の清算等が適切に行われていることから、「指名業者選定委員会」の見解を伺う。



町職組合事務所家賃は！

**問** 金銭的な損害はないとしても再入札を行う事務等や完成が一年近く遅れることで町民は目に見えない損失を被る、指名業者選定委員会は何らかの責任を取るべきだと思ふ。  
**答** 今回の契約解除に伴い（株）弘建と工事履行保証契約を締結している保険会社と金銭的保証について協議及び手続きを進めている。町が金銭的な損害を被ることはないものと判断。

## 本町の基地の実態

**問** 最近、町外者に工事を落札される傾向が多すぎる。指名制度を見直す必要があると思うが、北谷町建設工事等に係る指名業者選定委員会としての見解を伺う。  
**答** 本町における指名業者選定委員会は、町内企業育成や請負業の健全化の観点から機会ある毎に制度を見直し指名における町内外比率のあり方や工事予定価格の公表、総合評価制度の導入など社会環境に配慮した措置を行っている。



# Q 公共事業の入札改革は

## A 積極的に取り組む



なかち やすお 仲地泰夫 議員

**問** 入札参加資格募集は、社会貢献運動、労働災害防止活動の要素が考慮されるか。

**答** 考慮していない。

**問** 入札額を裏付ける見積内訳書の義務づけは。

**答** 提出は省略している。

**問** 町内業者の発注拡大は。

**答** 分離、分割発注に努め大規模工事では、第2、第3構成員を町内建設業者に限定。また総合評価落札方式を試行導入している。

**問** 適正意見を反映する第三機関を設置する考えは。

**答** 調査研究する。

**問** 通学途中の事故実態は。

**答** 小学校で1件、中学校で1件の計2計発生。

**問** 緊急点検の実施は。

### 学校の通学路の安全対策

**問** 景観、観光資源等、地域資源の活用は。

**答** 町として、未だ十分な調査も行っておらず、取り組まれていないが観光分野においては、現在、北谷町観光振興計画の中で、観光資源を洗い出し、今後、まとめていく予定。

**問** ブランド化の計画又はちやたんの塩、黒麹を使った商品開発は。

**答** 地場産業の泡盛産業、黒麹製造及び製塩事業を活用した商品を開発することで、北谷町にしかない特産品を作り上げることができると考えている。

**問** 特産品開発は、中小の零細企業では対応が難しい。施設整備をはじめ、特産品の企画開発、製品化及び販売促進までの支援や体制構築が必要。

**問** 指定ごみ袋の価格が高い根拠は。

**答** 袋大1枚当たりの処理原価は96円で、町民に多大な負担がかかることになり、事業系ごみ処理手数料と均衡を図っている。

**問** 減量化の推移は。

**答** 平成19年度1万1,880トン、平成20年度1万1,163トン、前年度比較でマイナス717トン、6.0%の減、平成21年度、1万1,328トン、プラス165トン、1.5%増、平成22年



学校の通学路安全対策は万全か

# Q 泡盛産業、黒麹製造事業、製塩事業等既存の地場産業を支援の具体的な取り組みは

## A 特産品開発施設基本構想として、取りまとめたい



とくち まさし 渡久地政志 議員

**問** 災害発生時の緊急通報と応急、通報機器、防災資機材等の充実を図るとあるが、具体的な取り組みは。

**答** 平成25年度は、災害発生時の緊急通報機器として個別受信機器の購入を予定している。

**問** 沖縄職業訓練支援センター運動場跡地を購入し、大規模災害発生時の住民や観光客等の避難場所や本町の災害対策機能の確保と強化等を目的とした防災拠点施設の整備は。

### 消防防災

**問** 現在のニライ消防北谷署は狭隘のため消防団の詰所がないので、防災拠点への建設の場合には詰所の設置も検討したい。

**問** 教育・文化等の推進で、地域の実態等を踏まえた幼稚園教育の充実を図るため、幼稚園における預かり保育の定数拡大等は。

**答** 幼稚園児の預かり保育の学級の定数を25名から30名まで拡大し、定数を超えた場合は学級増にも対応したい。

**問** 老朽化の進む学校給食センターの建替えを調査について、移転等も含め防災拠点施設と複合施設も可能か。

**答** 学校給食施設の防災拠点施設との複合施設は、「学校給食衛生管理基準」において、特に、下処理室などの「汚染作業区域」と調理室などの「非汚染作業区域」休憩室などその他の区域を明確に区分した構造と規定された施設が一体となった複合施設は問題があり、別棟施設は可能だと考えている。

**問** 景観、観光資源等、地域資源の活用は。

**答** 町として、未だ十分な調査も行っておらず、取り組まれていないが観光分野においては、現在、北谷町観光振興計画の中で、観光資源を洗い出し、今後、まとめていく予定。

**問** ブランド化の計画又はちやたんの塩、黒麹を使った商品開発は。

**答** 地場産業の泡盛産業、黒麹製造及び製塩事業を活用した商品を開発することで、北谷町にしかない特産品を作り上げることができると考えている。

**問** 特産品開発は、中小の零細企業では対応が難しい。施設整備をはじめ、特産品の企画開発、製品化及び販売促進までの支援や体制構築が必要。

**問** 地域の自主性及び自立性を高めるための改革が推進されているが、今後、強化すべきと想定される部署は。また、新たな条例制定は。

**答** 国の地域主権改革が行われている中、中・長期的には、北谷町総合計画、北谷町行政改革大綱、北谷町財政健全化中期計画等に基づきながら、毎年度の予算編成方針等により、全庁かつ全職員が不断の行政改革に努めている。

**問** 一括交付金でも、各自治体の政策立案能力が試されてくる。現場で活動する職員の提案も必要だと考えるが当局の考えは。

**答** 沖縄振興特別推進市町村交付金は、沖縄県や市町村が沖縄の振興に資する事業等を自主的に選択し、県や市町村の実情に即した事業の確かつ効果的な実施を図ることが目的。主な交付対象事業は、観光の振興や産業の振興、文化振興、福祉の増進などの分野に掲げられ沖縄県の自立、沖縄の特殊性

### 行財政改革の推進

に起因する事業としてこのことから、本町としてもこれらの条件を基に各課において事業計画を策定し、県に対し事業の実現化に向けて14事業が決定している。



改善が問われる消防団詰所



# 自治功労表彰

## 全国町村議会表彰



洲鎌長榮議員  
(対象：町村議会議員として15年以上在籍)

## 沖縄県町村議会表彰



大浜ヤス子議員  
(対象：町村議会議員として11年以上在籍)

# 全国町村議会議長会表彰 第217回町村議会広報全国コンクール奨励賞受賞



受賞誌 第67号

沖縄県内初!  
2年連続受賞



9代議会広報委員



新局長 ちねん よしあき  
知念良哲

がんばります!



てるや のぶお  
照屋信雄 前局長 定年退職長い間ご苦労様でした。

お世話になりました。

## Q 砂辺浜川境界線の渋滞緩和策は

A 第1ゲート附近の交通渋滞緩和策について要請している



ひらら てつお  
平良徹夫 議員

### 道路行政について

問 第1ゲート出入口の位置変更と町道への右折帯と考えるが拡幅は必要。状況の変化はあるか。

答 現在、在沖米軍嘉手納基地第718施設中隊、沖縄防衛局、南部国道事務所及び本町の4関係機関で、基地内で、南部国道事務所交通対策課を主管とする調整会議で、第1ゲートの対策及び交差点改良の考え方の検討事項になっている。①国道の伊平交差点(役場入口)と砂辺浜川境界線交差点

### 電線地中化

問 台風の多い県内では、現在、国道の電線地中化が行われつつある。町においても今後予定されている宮城2号線・桑江伊平地区区画整理事業等の道路の新設や改良工事を行う場合、電線の地中化が出来ないか。

答 ①平成23年12月2日、主管する沖縄総合事務局、南部国道事務所長に対し、町長、教育長連名で、砂辺ファームリーマート前、国体道路入口、オブリガード前の3カ所へ、歩道橋の設置を要請を行った。国道事務所は国道の拡幅に伴う横断歩行者の安全確保のほか、土地区画整理事業等の将来計画を踏まえた歩行者の導線を考慮し検討することのこと。②沖縄総合事務局や南部国道事務所長からこれまで横断歩道の撤去要請はない。

### 国民健康保険の個人カード化

問 施政方針の中で健康保険証を世帯保険証から個人保険証に切替える準備を進めているとのことだが、切替えの時期、切替えに要する経費等は。答 12月頃に新システムへ移行を予定し、平成26年3月の更新から交付が可能になる。経費はカード化に係わるシステム改修費で約300万円程度。

問 個人カードのメリットは。答 世帯内で複数人が医療機関で受診する場合、それぞれ保険証を持参して受診ができ、被保険者の利便性が向上すること等がある。これまで諸般の状



砂辺第1ゲート付近出入口の位置変更は?

ずばり!!町政を問へ

況により個人カード化を見送ってきた。

# 老人福祉向上のため、 議会に期待する



北谷町老人クラブ会長

たまき せいしょう  
玉城 清松

老人クラブ活動を通してご自分の居場所を見つけられて、仲間と共に「仲良く、楽しく、いつまでも元気に」お過ごしただけのように、次に掲げる四つの目標を大事に温めながら、組織の適正な運営を図り、クラブの諸活動に取り組み、明るく、楽しい、長寿社会づくりにその役割を担ってまいれる所存であります。

## 基本目標

- 一、 老後は健康に留意して、長生きしましょう。
- 二、 クラブ活動を通して、喜びと生きがいを求めましょう。
- 三、 家庭からも社会からも、敬愛される高齢者になりましょう。
- 四、 みんなで力を合わせ、社会のために尽くしましょう。

このたび、嘉陽田朝吉前会長の後任として、北谷町老人クラブ連合会長に推挙されました玉城清松でございます。

つきましては、微力でございますが、町内における高齢者の福祉の向上と本町老人クラブの充実発展のためにお役に立てればと考えているところでありますので、会員並びに町民の皆さんのご助言や、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近年、高齢化社会が進む中で、本町においても今後、町民の五人に一人が高齢者となる社会を迎えようとしていることに思いをいたし、町老連といいたしても、お年寄りの方が、

今後とも、町内老人クラブの諸活動が地域に根ざした形で発展していくよう、町行政当局、議会を始め、関係者の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

## 平成25年6月定例議会 傍聴へ行こう!!

インターネットで町議会を知ろう!!  
議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

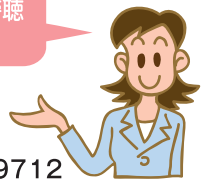
北谷町HP

北谷町議会

議会議事録公開

平成25年6月11日(火)開催予定

あなたも町議会を傍聴してみませんか?



詳細は北谷町ホームページで検索サイトで

北谷町議会

検索

HPアドレス : <http://www.chatan.jp> 【お問い合わせ】 議会事務局 ☎936-3382 FAX936-9712

## 編集後記

町の中はいたる所に春の花が咲きほこり、まるで新年度の出発を祝うかのようです。

町内の小、中学校の入学式、そして幼稚園や保育所の入園式もすべて終え、子ども達は落ち着き始めた頃でしょうか。

北谷町議会でも、4月から新しい事務局長が配属され、今、新しい職場に慣れるため一生懸命勉強をしているようです。

3月定例議会でも、4月から新しい30億円の予算も可決され始動しています。議会棟から見下ろす庁舎の周りでは、毎日大型工機が動き回り街づくりの音が響いています。

にぎやかな町の発展も大事ですが、日ごろの町民生活の機微にも重きを置いたまちづくりが進むよう議会は努力していきます。

さて、私達広報委員は、「読みやすい」「解りやすい」議会だよりを目指し奮闘しておりますが、それには皆様のご感想が一番の処方箋だと思います。今年度も皆様の議会傍聴と、「議会だより」読後のご感想を寄せてくださるようお願い致します。

広報委員 仲栄真恵美子

ご意見・ご感想は  
こちらへ



北谷町議会事務局

TEL: 936-3382

FAX: 936-9712